

## 卒業所要単位 116単位以上

	教育内容	授業科目	学年	単位数		教育内容	授業科目	学年	単位数
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	1	1	専門分野	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	1	3
		化学	1	2			栄養指導	1	1
		基礎数学	1	1			歯科保健指導論Ⅱ	2	2
	人間と生活	臨床歯科英語	1	2			歯科保健指導論Ⅲ	3	2
		基礎国語	1	2		歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	1	3
		心理学(人間行動学)	1	2			歯科診療補助論Ⅱ	2	2
	倫理学	1	1	臨床検査法			2	1	
小計			11	社会保険			2	1	
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1	2		臨地・臨床実習	歯科診療補助論Ⅲ	3	3
		組織・発生学	1	2			臨地・臨床実習Ⅰ	2	8
		生理学	1	1			臨地・臨床実習Ⅱ	3	12
		生化学	1	2	小計			60	
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	1	2	選択必修分野	特別科目	一般教養(華道・書道)	1	1
		歯牙解剖(歯型彫刻)	1	2			コンピューター	1	1
		口腔生理学	1	1			看護概論	2	2
	疾病の成り及び回復の促進	病理学(口腔病理学)	1	2			秘書実務(接遇マナー)Ⅰ	1	1
		微生物学(口腔微生物学)	1	2			秘書実務(接遇マナー)Ⅱ	2	1
		薬理学(歯科薬理学)	1	2			医療事務Ⅰ	1	3
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学(1)	1	3			*医療事務Ⅱ	2	3
		口腔衛生学(2)	2	2			介護技術(講義・演習)	2	1
		衛生統計	2	1			課題(卒後)研究	3	2
衛生学・公衆衛生学		1	2	総合学習			3	4	
衛生行政・社会福祉学	2	2	*海外事情	2			2		
栄養学	1	1	小計		21				
小計				29	合計	121単位			
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	1	1	<p>&lt;履修に関する注意&gt;</p> <p>①卒業のために必要な授業科目および単位数に関する規定は、きわめて厳格なものであって、1単位の不足があっても卒業は認められない</p> <p>②授業科目の評価は、出席状況・試験・レポートなどの成績およびその他の学習作業の結果を総合して決められ、合格と判定された科目に対して所定の単位が与えられる。したがって試験の成績が合格に達していても、不合格となることがある。</p> <p>③卒業試験までに必要単位を修得しておかなければならない。</p> <p>④「臨地・臨床実習Ⅰ」は、歯科予防処置論Ⅰ・歯科保健指導論Ⅰ・歯科診療補助論Ⅰを履修した者でなければ履修できない。</p> <p>⑤臨地・臨床実習Ⅱは、歯科予防処置論Ⅰ・Ⅱ・歯科保健指導論Ⅰ・Ⅱ・歯科診療補助論Ⅰ・Ⅱを履修した者でなければ履修できない。</p>				
		医療倫理学	2	1					
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	1	1					
		保存修復学	2	1					
		歯周療法学	2	1					
		歯内療法学	2	1					
		歯科補綴学	2	1					
		口腔外科学(麻酔学)	2	1					
		小児歯科学	2	1					
		歯科矯正学	2	1					
		歯科放射線学	2	1					
	高齢者歯科学	2	1						
	障害者歯科学	2	1						
摂食・嚥下機能学	2	1							
歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	1	2						
	歯科予防処置論Ⅱ	2	3						
	歯科予防処置論Ⅲ	3	3						

\*は選択科目である

44期

卒業所要単位 115単位以上

	教育内容	授業科目	学年	単位数		教育内容	授業科目	学年	単位数	
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	1	1	専門分野	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	1	3	
		化学	1	1			栄養指導	1	1	
		基礎数学	1	1			歯科保健指導論Ⅱ	2	2	
	人間と生活	臨床歯科英語	1	2			歯科保健指導論Ⅲ	3	2	
		基礎国語	1	2			歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	1	3
		心理学(人間行動学)	1	2				歯科診療補助論Ⅱ	2	2
	倫理学	1	1	臨床検査法		2		1		
小計		10	社会保険	2		1				
専門基礎分野	人体の構造と機能	解剖学	1	2		臨地・臨床実習	歯科診療補助論Ⅲ	3	3	
		組織・発生学	1	2			臨地・臨床実習Ⅰ	2	8	
		生理学	1	1	臨地・臨床実習Ⅱ		3	12		
		生化学	1	2	小計			60		
	歯・口腔の構造と機能	口腔解剖学	1	2	選択必修分野	特別科目	コンピューター	1	1	
		歯牙解剖(歯型彫刻)	1	2			看護概論	2	2	
		口腔生理学	1	1			秘書実務(接遇マナー)	3	1	
	疾病の成り及び回復の促進	病理学(口腔病理学)	1	2			医療事務Ⅰ	1	3	
		微生物学(口腔微生物学)	1	2			課題(卒後)研究	3	1	
		薬理学(歯科薬理学)	1	2			総合学習	3	8	
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学(1)	1	3			* 医療事務Ⅱ	2	3	
		口腔衛生学(2)	2	2			* 海外事情	2	2	
		衛生統計	2	1						
		衛生学・公衆衛生学	1	2						
衛生行政・社会福祉学		2	2							
小計		29								
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	1	1	合計 120単位					
		医療倫理学	2	1	＜履修に関する注意＞					
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	1	1	①卒業のために必要な授業科目および単位数に関する規定はきわめて厳格なものであって、1単位の不足があっても卒業は認められない。					
		保存修復学	2	1	②授業科目の評価は、出席状況・試験・レポートなどの成績およびその他の学習作業の結果を総合して決められ、合格と判定された科目に対して所定の単位が与えられる。					
		歯周療法学	2	1	したがって試験の成績が合格に達していても、不合格となることがある。					
		歯内療法学	2	1	③卒業試験までに必要単位を修得しておかなければならない。					
		歯科補綴学	2	1	④「臨地・臨床実習Ⅰ」は、歯科予防処置論Ⅰ・歯科保健指導論Ⅰ・歯科診療補助論Ⅰを履修した者でなければ履修できない。					
		口腔外科学(麻酔学)	2	1	⑤臨地・臨床実習Ⅱは、歯科予防処置論Ⅰ・Ⅱ 歯科保健指導論Ⅰ・Ⅱ 歯科診療補助論Ⅰ・Ⅱを履修した者でなければ履修できない。					
		小児歯科学	2	1						
		歯科矯正学	2	1						
		歯科放射線学	2	1						
		高齢者歯科学	2	1						
	障害者歯科学	2	1							
	摂食・嚥下機能学	2	1							
歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	1	2							
	歯科予防処置論Ⅱ	2	3							
	歯科予防処置論Ⅲ	3	3							

\*は選択科目である